

服用前にこの説明文書を必ず読むこと。
また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

第2類医薬品

葛根湯エキス配合

小児用 パブトン[®] ベビー

⚠ 使用上の注意

本剤は小児用ですが、かぜ薬として定められた一般的な注意事項を記載しております。

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 次の人は服用しないこと
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等
(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
(眠気等があらわれることがある。)
- 服用前後は飲酒しないこと
- 長期連用しないこと



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 高齢者。(4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(5) 次の症状のある人。高熱、排尿困難 (6) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関 係 部 位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精 神 神 経 系	めまい
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

(裏面に続きます)

再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 □のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
3歳以上7歳未満	8mL	1日3回食後および必要な場合は就寝前に服用するものとし、また、場合によっては1日6回まで服用しても差し支えないが、1日6回服用する場合には、原則として約4時間の間隔をおいて服用すること。
1歳以上3歳未満	6mL	
3ヶ月以上1歳未満	4mL	
3ヶ月未満	服用しないこと。	

(1)用法・用量を厳守すること。(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。(3)2歳未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。(4)本品に含まれている葛根湯エキスは、経時的に沈殿することがあるので、ご使用の時はよく振って飲むこと。

成分・分量と作用

成 分	48mL中	主な作用
葛根湯エキス 葛根 663mg 芍薬 249mg 麻黄 332mg 甘草 166mg 大棗 332mg 生姜 83mg 桂皮 249mg より製した水製エキス	688mg	葛根湯は古くから、悪寒、発熱、頭痛がして首すじや背中がこわばるような症状に効果があるとされている漢方処方です。
アセトアミノフェン	225mg	熱をさげ痛みをしずめる。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.5mg	鼻水、鼻づまりに効果がある。
クエン酸ナペジジン	20mg	のどの痛みをやわらげる。
無水カフェイン	50mg	頭痛をしずめる。

添加物：白糖、D-ソルビトール、DL-リンゴ酸、安息香酸Na、香料、エタノール、プロピレングリコール、グリセリン、バニリン、エチルバニリン、ゼラチン

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
 (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
 (3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）。
 (4) 使用期限を過ぎた製品は、服用しないこと。

お問い合わせ先 田村薬品工業株式会社 お客様相談室
 06-6203-5151 受付時間10:00～17:00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
 (独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元

田村薬品工業株式会社
 奈良県御所市西寺田50